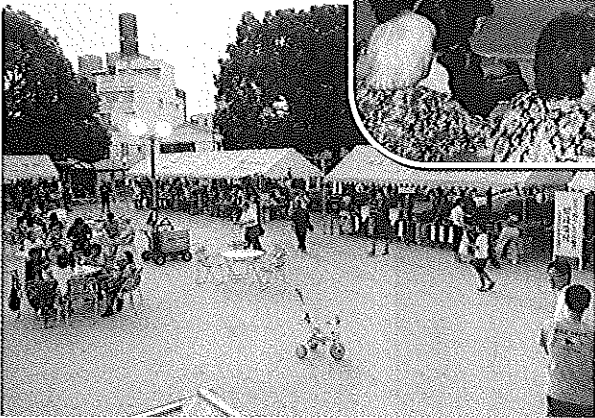


周南市飯島町1-13 Tel 22-8875 Fax 22-8813



賑わった
ナイトフェスタ
in青空

ナイトフェスタも、十四回目となる。今年もスタッフの炎天下での会場づくりも手慣れたもので午前中で終了。今年も住吉中の生徒が多数ボランティアとして参加してくれた。

日本人は祭が好きだ、特に夏祭りは格別だ。浴衣着でそぞろ歩きの娘さん達、子ども達はゲームのブースで大賑わい、釣り堀大会にはお母さん達も本気で応援大はしやぎ。バザーのブースでは体育振興会の焼き鳥・ビール、関門焼きに行列ができる。

PTAのかま揚げうどんもなかなかの味だ。全家庭に配布されたくじ引きには一等のスイカに一喜一憂。

ステージでは、徳山小の先生バンドの、コブクロの「桜」などに応援団の子どもたちが大歓声。フォークソング・フラダンス・歌謡ショーなど観客の拍手でおおいに盛り上がった。

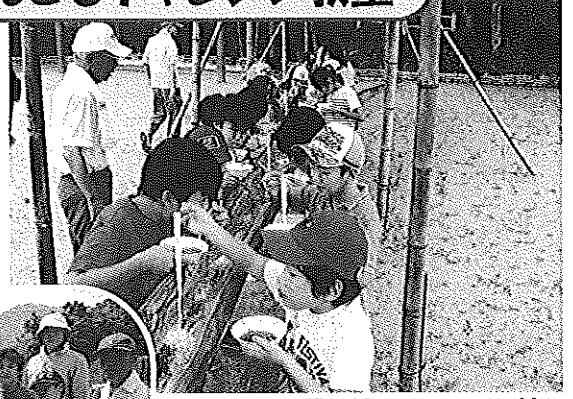
実行委員長 藤原 利之

夏休みチャレンジ教室

なんでもチャレンジ教室



美味しかったよとん汁



あっという間に流れたソーメン流し



電動ミニカー だれのが一番走るかなー

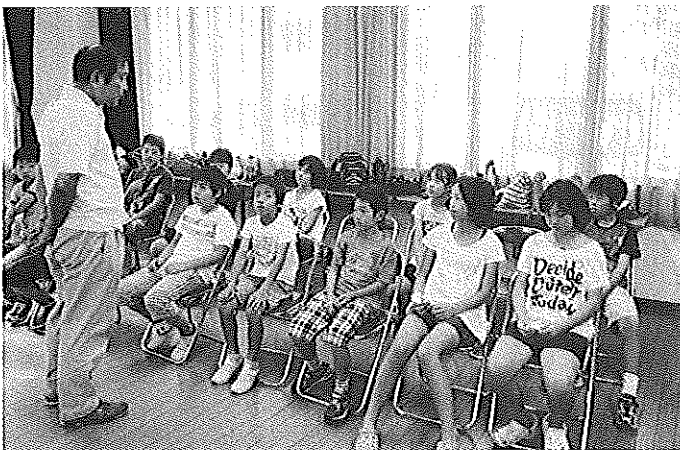
昨日からの雨で参加者が気になりましたが「おはようございませす」と元気な声でこどもチャレンジに参加するみんなが次々と集まってきました。

並べられた道具をさわったり、早く吹いてみたい様子でワクワクしていました。「鼻からいっぱい空気を吸って口から一気に吹いてー」「ハイ一緒に」みんなまじめに取り組みました。この競技は集中力が必要なのです。吹き始めは恐る恐るでしたが最後には男子7メートル、女子6メートルの的まで参加者全員飛ぶようになりました。決勝では女子3名、男子1名になりましたが、最後は女子が上位を占めました。

「ガンバレ男子！次は君たちが主役だよ！」

きずな編集員 明石和子

ヒューストンにチャレンジ

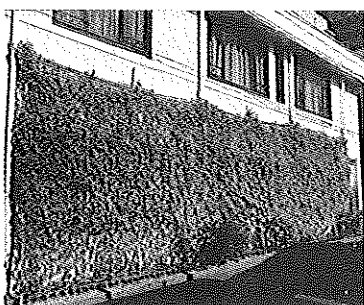




いつまでも
お元気で!!

中央・関門地区

祝敬老の日



中央地区公民館東側
みどりの壁

夏場の電力不足と猛暑に備え、植物の葉で窓を覆って日差しを遮る「緑のカーテン」への注目度が高まってきました。

当中央公民館でも、一階東側窓沿いに植えたゴーヤがすくすく育ち素晴らしい「緑のカーテン」をつくりました。昨年は五〜六本植えたものの育ちが悪くて不作でしたが、今年は二十本植えた苗を大切に育てた結果、葉っぱの緑が素晴らしく綺麗な立派なカーテンに育ちました。

どれくらいのエコ節電になったかわかりませんが、窓を開けると涼しい風が入り講座生の方には心地よい清涼感を満喫されたことでしょう。五月に苗を植えてから真夏の水やり、弦（つる）の管理など、毎日お世話して頂いた皆様ありがとうございます。

きずな編集員 住谷博志

素晴らしい「緑のカーテン」

中央地区大運動会

第三十九回中央地区大運動会を十月十六日多くの方のご協力を得て開催する事が出来ました。

最近、老若男女を問わず健康への関心が特に深まっていると思いますが、何と云っても体を動かすこと、気持ち良く汗を流す運動会は、絶好の健康づくりのイベントだと思います。同じ地域に住む皆さんが集まって一緒に楽しく爽やかな汗を流す、仲間と競い合うなかで快い汗をかきながら健康づくりをする。こんな素晴らしい事はありません。

中体振も今年で四十周年を迎えます。これからも少しでも皆様のお役にたてる様活動して参りますので、ご指導・ご協力の程宜しくお願い致します。

中央地区体育振興会
副会長 徳永智明



四十周年記念鈴割り



児玉源太郎ってすごい人だったんだネ

先日、児玉公園の一角で児玉源太郎陸軍大将（以下源太郎）の銅像を見かけました。神社に祀られ、銅像まで建立される源太郎とはどんな人物だったのでしょうか。調べてみる事にしました。源太郎は1852年に武士の長男として徳山で生まれています。

あの幕末の英雄坂本竜馬より16歳年下です。若くして軍人を志し、19歳で陸軍少尉に昇任しています。源太郎が軍人として優れた能力を発揮したのは日露戦争でした。圧倒的不利な状況下、卓抜した戦術と実行力で日本を勝利に導き、知将・名将と称えられました。

又、源太郎は内務大臣、文部大臣も歴任しています。政治家でもありました。特に48歳で台湾総督に就任してからは、配下の後藤新平と共に、道路網や上下水道の整備、基幹産業の復興、病院の建設等々台湾の近代化に大きく貢献しています。後藤新平の句碑も児玉神社の境内にあります。55歳で没しましたが、「源太郎が10年長生きしていたら歴史は変わっていたかも知れない」とさえ言われています。

きずな編集員 田吹信一



編集後記

すすきの穂にささやく様に、秋風がそつと通りすぎていったそんな晩秋でした。

平成二十三年は、余りにも悲しい出来事の多い年でした。殆んど毎日の様に新聞の紙面で取り上げられていた報道も、少づつ消えていきつつあるのが今の状況ではないでしょうか。

決って忘れることの出来ない三月十一日です。「助けあいの心思いやりの心」は、いつまでもしっかりと心の中にきざんで行きたいと思っています。

きずな編集員 中尾千恵子

今後の行事

- ・12月14日 徳山小校区子ども見まもりタイ一斉パトロール、
集合時間14:40
- ・1月15日 どんど焼き、徳山小グラウンド
- ・1月29日 徳山小学校区コミュニティ設立
30周年記念式典
- ・2月11日 建国記念の日行事 児玉公園
- ・2月17日 公民館祭
- ・2月18日